



平成27年10月28日

石峯便り

北九州市立石峯中学校

校長 江口 満

(平成27年度 全国学力・学習状況調査特集号)

平成27年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成27年4月21日(火)に、3年生を対象として、「教科(国語・数学・理科)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度本校の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

1. 教科に関する調査結果の概要

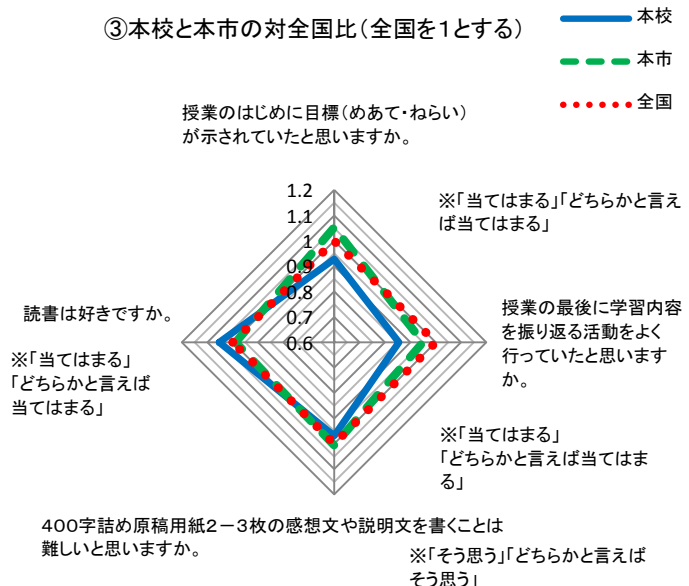
① 学力調査結果と分析

カテゴリー	全国平均との比較	学力調査の分析(傾向や特徴)
国語A	全国平均正答率を下回っている。	昨年度よりも正答率が下回った。答えを何も書かない無回答率は昨年度同様減少した。「話す・聞く・書くこと」に関する問題に課題がある。
国語B	全国平均正答率を下回っている。	昨年度とほぼ同じ正答率であった。無回答率は昨年度同様減少した。「書くこと」に関する問題に課題がある。
数学A	全国平均正答率を下回っている。	昨年度とほぼ同じ正答率であった。無回答率は昨年度同様減少した。「資料の活用」に関する問題は全国平均を上回った。「数と式」に関する問題に課題がある。
数学B	全国平均正答率を下回っている。	昨年度よりも正答率が下がった。無回答率は昨年度同様減少した。「図形・関数・資料の活用」に関する問題に課題がある。
理 科	全国平均正答率を下回っている。	前回よりも正答率が下がった。無回答率は前回同様減少した。「物理的領域・生物的領域・地学的領域」に関する問題に課題がある。

② 学校における学習状況に関する調査結果と分析

- 「授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか」については、H25(52%)→H26(68%)→H27(74%)と過去3年間で22%上昇しており、取組の成果であると思われる。
- 「授業の最後に学習内容の振り返り活動を行っていたか」については、H27(51%)で、全国比(87%)で「授業のはじめに目標を示す」の全国比(93%)より低く、今後の課題である。
- 「400字詰め原稿用紙2、3枚の感想文や説明文を書くことが難しいと思わない」割合が、H25(28%)→H26(20%)→H27(38%)と過去3年間で10～18%上昇しており、国語科の授業等での新聞のコラム書き取りなどの取組の成果であると思われる。
- 「読書は好きですか」については、全国比(105%)となり、全国平均を上回った。これは、北九州市が推進している朝読書を本校でも積極的に推進してきているからであり、また図書館教育の充実もあると思われる。

③ 本校と本市の対全国比(全国を1とする)



2. 家庭生活習慣等に関する調査結果の概要

① 家庭学習習慣に関する調査結果と分析

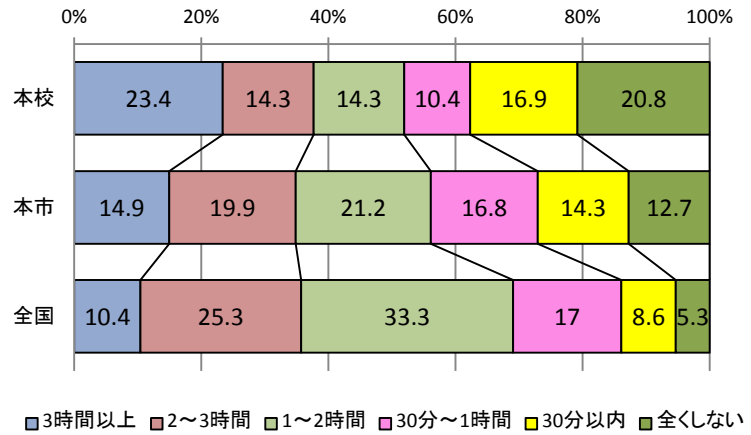
・「平日の家庭学習の時間」について、1時間以上が全国比(75%)と低く、今後の取組の課題である。また、3時間以上が全国比(225%)と高い反面、全くしないが全国比(392%)と高く、学力の二極化の状況が見られる。

・「家で授業の予習をやっていますか」については、全国比(30%)と低く、今後の取組の課題である。

・「自分で計画立てて家で勉強していますか」についても、全国比(67%)と低く、今後の取組の課題である。

・「図書館の利用」は、全国比(222%)と大幅に上回っており、毎日昼休みと放課後に開館して積極的に生徒の利用を推進している本校の図書館教育の取組の成果であると思われる。

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)



② 生活習慣等に関する調査結果と分析

・「家庭でのテレビ等の視聴時間」で、2時間以下が全国比(79%)と下回っており、テレビ等を長時間視聴している生徒の割合が高く、生活習慣についての課題であると思われる。

・「学校のきまりを守る」ことが全国比(100.4%)と上回ったのは、生徒会活動や道徳教育による規範意識の向上の取組の成果であると思われる。

・「いじめはいけない」が全国比(102.6%)と上回ったのは、道徳教育や相談活動・いじめアンケートの実施などいじめ防止の取組の成果であると思われる。

・「人の役に立つ人間になりたい」が全国比(103.9%)と上回ったのは、道徳教育、進路指導・キャリア教育・職場体験活動など様々な教育活動の成果であると思われる。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- ◎ 学力向上のための特設時間<石峯タイム>の実施(全校で)
 - ・各学期に一回ずつ国語・数学・英語の基礎学力強化週間を設けて朝自習や帰りの自習を週毎に交替で実施し、週末に学習コンクールを実施する。(漢字・計算・英単コンクール)
- ◎ 全国学力調査の過去問題やCRTテストのアシストシート(練習問題)、活用力を高めるワークの活用(教科で、学年で)
 - ・アシストシートやWEB問題(市教委作成ネット公開問題)を使い、基礎基本の定着を図る。
 - ・アシストシートや過去問を冊子にして、冬休み・春休みの「宿題帳」とする。
- 「書くこと」を習慣化(教科で、学年で、学級で)
 - ・学習の最後、3分間を「振り返りタイム」として、振り返りを書くようにする。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ◎ 宿題のスタンダード化(時間、学年別・教科別内容)
 - ・自主学習ノートの活用
 - ・家庭学習時間の設定
 - ・「家庭学習の約束」の作成・実施
 - ・「家庭学習チャレンジハンドブック」の活用(毎月、月末または月初めの週に提出、点検を実施、学習委員会の活動で)
 - ・家庭学習マイスター賞への応募
 - ・冬休み・春休みの宿題に過去問題やアシストシート、WEB問題を活用
- ◎ 全国学力・学習状況調査の課題と取り組み等を保護者へ周知
 - ・学校便りや、学校ホームページを通じて調査の結果と取組の成果と課題について周知を図り、家庭教育学級や学年懇談会等を通じて、家庭と連携し協力体制を整える。